

KOBE SDGs 探究プログラム

Why? から始める 『SDGs 教育旅行』



Why? から始める 『SDGs 教育旅行』 KOBE SDGs 探究プログラムについて

「SDGs・探究学習・キャリア教育」をテーマに、神戸を代表する企業や公共施設、大学、ボランティア団体など、産官学連携による神戸ならではのプログラム。学生のみならずSDGsについての学びを深めて頂ける内容となっています。

SDGs をテーマに、自ら問いを立て、
社会や自分の将来の答えを探していく「探究型教育旅行」

地元神戸の企業等が実際に行っている社会課題や環境問題を解決するSDGsの取り組みを学ぶ。

SDGs

探究学習

キャリア教育

自分自身で学習のテーマを設定し考え、体験で得た知識を参考にさらに考察を深めることで、**生徒の主体性**が引き出され、将来の行動へとつなげていく。

探究学習やグループでの協働活動などの実践型のキャリア教育や、企業等での体験学習を通じて、自分なりの**職業観を形成**していく。

このプログラムの 3 つの特徴

1 「旅マエ～旅ナカ～旅アト」でより深まる探究学習

グループワークや発表を通じてインプットだけでなくアウトプットを行う→実践的なキャリア教育へ

-旅マエ-



事前学習

「自ら問いを立てる」

事前学習

事前調査

生徒一人一人が何を学びたいかを考え、テーマを設定。
事前調査を通じて、自ら「問い」を立てる。

-旅ナカ-



現地学習

「体験・情報収集」

現地学習

講話・ワークショップ

旅行中は、自らが立てた「問い」に対し、体験や見学、交流を通じて、気づきや答えに対するヒントを得る。

-旅アト-



事後学習

「掘り下げる」

リフレクション / 振り返り

自分ごと / ビジネスアイデア

旅行を振り返り、どのような気づきや学びがあったか整理し、自らが立てた「問い」に対して答えを導いていく。

2 「SDGs 探究」「キャリア教育」それぞれの観点から学ぶことができる

SDGs 探究の観点



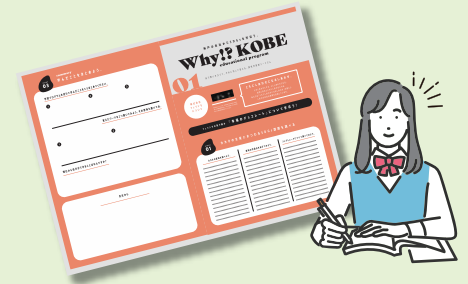
地元神戸の企業が実際に行っている社会課題や環境問題を解決するSDGsの取り組みを学び、自分ごととして視野を広め自分の生活に置き換えて実践する「答え」を出す。

キャリア教育の観点



企業担当者より、企業の取り組みや、抱える課題をヒアリングして、自分が担当者として解決に向けたアイデアや答えを導き出し、社会に出た際の考える力を身に付ける。

3 各プログラムに応じた「探究手帳」



それぞれの観点からの学習を導き出すように「探究手帳」を作成して、より効果的かつ効率的な学習が出来るようにサポートを行う。

下記以外の協力企業はこちらからチェック!

どの企業で学んでみる?

協力企業(一例)

(株)アシックス 	ヴィッセル神戸 	NTT西日本兵庫支店 	神戸市 	川崎重工業株式会社 	菊正宗酒造(株)
(株)神戸クルーザー 	神戸大学 	神戸どうぶつ王国 	(株)神戸酒心館 	神戸新開地・喜楽館 	(株)神戸製鋼所
(株)神戸ポートヒルホテル 	(株)神戸マツダ 	(株)G-7ホールディングス 	神戸紅茶(株) 	シスメックス(株) 	ノーリツ

神戸 SDGs 探究プログラムのお問い合わせ(事務局) TEL : 078-571-0120 MAIL : kobe_sdgs@bsec.jp

神戸で学ぶ震災学習

1995年1月17日 それは神戸にとって忘れることができない日、そして忘れてはならない日。

阪神淡路大震災により神戸はかつてない大きな被害を受けると共に、改めて「命の尊さ」や「絆の大切さ」を思い知ることとなりました。

今、日本の各地では、地震がいつどこで起きるかわからない危機に立たされています。

そうした中で神戸では、震災の経験を役立てる様々な活動に取り組んでいます。



震災学習体験

まちを見て、歩いて、実際に生活する人々の口から震災や復興の経験を生の声で聞き、自ら体験・発見することは、展示や映像を見るだけでは得られない、貴重な経験です。大きな被害を受け、復興を遂げたまちと、そこに暮らす人々のエネルギーを肌で感じることができます。

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



ホームページはこちら



人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝え、自然災害に備える力を身につける災害ミュージアムです。

地震発生の瞬間の再現映像上映や震災資料展示等のほか、自らが高気圧となって台風の進路を誘導する「ウェザーウォーク」や、映像空間で災害に関するクイズに答える「クエスチョンキューブ」など楽しく学べる体験展示も充実しています。

ご利用いただけるホテル・レストラン一覧はこちら



神戸教育旅行詳細はこちら

